※令和４年度以降入学生用

学校番号	T0301

令和５年度　国語科

教科	国語科	科目	言語文化	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	新編　言語文化　（東京書籍）						
副教材等							

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・教科書とプリントを使って学習します。
・様々な文章を「読む能力」と意思を伝えるための「書く能力」を身に付けてください。
・定期的にノート点検やプリント提出をしてもらいます。
・年５回の考査と平常点で評価をします。

２　学習の到達目標

・社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、言語文化に対する理解を深めようとしている。
・論理的思考力や他者への共感力や想像力を伸ばし、伝える力を高め、自己理解力を広げ深めたりすることができる。
・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使っている。	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分への思いやりや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通じて積極的に他者と関わったり、思いや考えを深めたりしながら、言葉のもつ価値への認識を深めようとしているとともに、言語感覚を磨き、言葉を効果的に使おうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
前期	随筆に親しむ ［教材］ 「美しい」ということ	a：随筆という文学ジャンルを知り、他のジャンルとは違った言葉の表現や筆者独自の感性や鋭い視点を学び使おうとしている。 b[読]：筆者の経験と「美」の分析について理解する。 c：筆者のものの見方や感じ方を読み取ろうとしている。	考査 ワークシート	考査 ワークシート	授業に取り組む態度
	小説に親しむ ［教材］ とんかつ	a：多くの小説は名もなき人々の心の触れ合いが細やかに描かれていることを知る。 b[読]：会話や行動の描写に着目して、丁寧に読み進めることができる。 c：表現に注意しながら登場人物の心情とその変化を読み取ろうとしている。	ワークシート	ワークシート	授業に取り組む態度
	詩を深く読み味わう力を養う ［教材］ 冬が来た/少年の日	a：言葉の意味や表現技法を学び、理解することができる。 b[読]：リズムを確かめつつ、自分の感情に重ねて読むことができる。 c：詩に親しみ深く味わうなかで、作者の思いを考えようとしている。	考査 ワークシート	考査 ワークシート	授業に取り組む態度 ノート
	説話の面白さを知る ［教材］ 絵仏師良秀/徒然草	a：優れた作品は古典として残され、受け継がれることを知る。 b[書]：本文を書写することで現代語との違いを知り、正しく書写することができる。 c：言葉は違うが古人も現代人も同じような考えや感情を抱いているということを理解しようとしている。	考査 ワークシート	考査 ワークシート	授業に取り組む態度
後期	漢文の世界に親しむ ［教材］ 守株/借虎威/春望	a：漢文の特色を知り、決まりを理解する。 b[書]：漢文独特の文体や言葉を学び、故事成語などを書くことで興味関心をもつことができる。 c：書き下し文から日本語訳への適切な表現を導き出そうとしている。	考査 ワークシート	考査 ワークシート	授業に取り組む態度 ノート
	登場人物の心情を読み取る ［教材］ 夢十夜	a：写実的や抽象的な様々な小説があることを知り、読書の幅を広げようとしている。 b[読]表現に即して丁寧に読み、登場人物の心情を読み取ることができる。 c：表現に注意しながら、作品独自の世界を味わおうとしている。	ワークシート	ワークシート	授業に取り組む態度
	短歌や俳句に親しみ、味わう ［教材］ 柳あをめる/雪の深さを	a：和歌や俳句の決まりや表現の工夫を学び、言葉の背後に作者の心が隠れていることを知る。 b[読]：表現に注意しながら、リズムにのせて読むことができる。 c：作者の思いや感情への理解を深めながら、言葉の価値を認識しようとしている。	考査 ワークシート	考査 ワークシート	授業に取り組む態度 ノート

※表中の観点について　a：知識・技能　b：思考・判断・表現　c：主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　(　　)時間

・書くこと　…　(　10　)時間

・読むこと　…　(　60　)時間